新たな歴史に向かって

鳳エリア建替え運動の道 ⑭

病気の早期発見・早期治療実現を期待

私は、1977年4月に旧耳原鳳分院に放射線科の技術助手として就職しました。次の年に放射線技師専門学校に入学し、昼は助手として働き夜は学校に通いました。

当時のレントゲン室は一般撮影と断層撮影しかなく、胸部撮影も一人ひとり胸部の厚さを測り、撮影条件表と見比べて撮影するというものでした。その後、胃の検査用エックス線テレビが入りました。フィルムの入ったカセットを検査終了ごとに交換するのが午前中の仕事で、午後はそのフィルムを暗室で現像するという毎日でした。

1981年11月に現在の鳳クリニックがある場所に、新病院として移転しました。最初は、一般撮影と断層撮影、エックス線テレビから始まり、その後、腹部エコー、CT、マンモグラフィという新しい機器が導入されました。それに伴って学習が必要でした。

私が鳳で働いていた40年余りの間に医療技術は大きく進歩し、アナログからデジタルへ、暗室でフィルムを現像していた時代から今では撮影した画像がすぐに診察室のモニターへ届く時代へ発展しています。

新鳳クリニックには患者としてかかわっていきます。職員、患者、友の会、地域が一体となって取り組み、安心してかかれる医療や介護の実現を期待します。

（元耳原鳳クリニック　放射線科　植田　秀樹）

就職当時の耳原鳳病院

組合活動中の植田さん

右から３人目が植田さん

地域コミュニティ棟建設開始

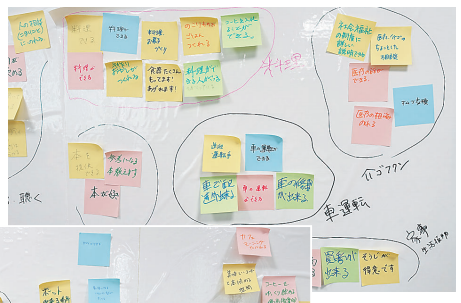
地域住民と繋がる新たなアクセスポイントに

地域コミュニティ棟は同仁会本部西側に、2025年2月末竣工、4月オープンをめざし現在建設中です。建設委員会ではこれまで11回の会議をかさね、構想の具体化をすすめています。

みみはらグループでは地域住民とのお付き合いの多くは「医療介護が必要になってから」始まります。一方で「医療介護のことで将来が不安、医療介護につながれていない人がいる」など、友の会世話人さんや地域から不安や潜在的ニーズをお聞きすることがあります。また、不安や心配だけでなく、「こんな街であってほしい、こんな場所がほしい！」といった楽しみ・癒しの期待やニーズもあります。

このようなニーズと法人が持つ機能、コミュニティ棟をどうリンクさせていくか、既存の地域力・友の会活動と共存・共同するスタンスで論議をすすめています。

3月の会議では「地域にどんな場所・空間があると嬉しいか」「自分ができること～リソースカードを書こう」のワーク、4月の会議では会議メンバーである友の会支部世話人さんにリードしていただき「コミュニティ棟周辺地域マップを見ながら、地域事情を知るワーク」を行ないました。



たくさんのリソースカード

現在は、気軽に立ち寄れるカフェ、サークルや集まりに利用できるスペース、アートを生かした癒しなどを具体化しているところです。

法人としては医療介護・福祉以外の初の事業となるため「みえる形」を描くことに難しさがありますが、これまでの枠にとらわれない柔軟な発想を形にし、みみはらグループと地域住民の新たなアクセスポイントになるよう、今後論議をふくらませていきます。

（地域コミュニティ棟プロジェクト会議　大平　路子）

第３回 鳳エリア新建設ホスピタルアートワークショップ

～みんなで創る〝伝承のアート〟～

4月13日鳳エリアの新建設に向けてクリニック、ケアマネジャー、訪問看護、リハビリ、ヘルパーステーション、介護老人保健施設、友の会、建設関係各位から総勢30人の参加者とともにアートワークショップを行いました。

今回、アートセクションが組織ごとにデザインした〝紋章〟の下絵に対し、感想やご意見を出していただきました。この〝紋章〟は昨年から「私たちはなぜ、どのようにここに存在するのか」を各組織、そして個人単位でうかがってきた声が可視化されたものです。さらに、これは鳳クリニックとともに育ち、建設計画に伴い、やむをえず伐倒された欅の木を使った彫り物として姿を変え、新しい鳳エリアに帰ってきます。

そんな欅に想いを馳せつつ、それぞれの〝紋章〟をさらにブラッシュアップさせるために心置きなく言葉を交わしていただきました。来年春の新エリア開業に向けて〝紋章〟の完成形も広報などでお披露目していきますので、どうぞご期待ください。

（企画運営：みみはらアートセクション）

理事会報告

4月理事会〈概要〉

開催日時：
4月25日（木）
午後6時～7時43分
出席：理事　25名
監事　3名

〈主な内容〉

◆報告
- 拡大常任理事会、各種委員会概要
- 健康友の会みみはら、社保・平和の取り組み
- 無料低額診療の各事業所実績
- 2024年3月度決算概要
- 鳳エリア建て替えの進捗報告
- 高石ブロック友の会会員訪問について報告

◆協議確認事項
- 定例評議員会の日程と議案について承認
- 参与の解任について承認